



特集概要

コンシューマー向けのバズワード解説に留まらない、"企業のビジネス開発"のためのWeb3特集

Web3はメタバースや高速無線通信と併せて注目を集めたが、その後巻き起こった生成 AIブームの強烈なインパクトを前に、メディアが取り扱う機会が減り、ともすると忘れられた過去のテクノロジーのように扱われている。確かにNFTなどの初期のブームを牽引したコンシューマ向けビジネスはいっときの熱狂が一服しつつある。

だが、Web3は本当に「終わってしまった」のだろうか。今もWeb3テクノロジーをビジネスチャンスと見る企業は何を狙い、どんな社会を実現しようとしているのだろうか。彼らの技術展望から、改めてWeb3のポテンシャルを見ていく。



●想定読者

- ・企業のIT部門〜経営企画等のビジネス創出に責任ある方
- ・企業のDX推進担当、新規ビジネスの創出を考える部署、スタートアップとの協業を目指す企業



●このような読者の疑問に応える

- ・本当にWeb3サービスを活用すべきなのか
- ・Web3の活用は広がっているのか
- 実用性はあるのか

Web3関心読者のデモグラ

ITmedia エンタープライズ全体と比較すると・・・

✓ 業種:製造・サービス業の比率が2ポイントほど高い

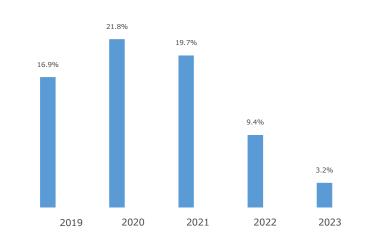
✓ 職種:経営・経営企画職や専門職の比率が2ポイント高い

✓ 役職:役職ありの比率が3ポイント高い

その他業種 業種 7.9% _ 流通・小売・ サービス業 情報通信業 45.3% 24.4% 製造業 役職 経営・経営 法務・知財・ 職種 財務・会計・ 企画・環境 渉外 その他 経理 経営者・役員層 3.1% _0.6% _ 9.8% 事業部長/丁場長 総務・人事・教育 0.8% 1.5% 専門職 営業・マーケ 部長クラス 27.6% ティング 8.9% 12.5% 課長クラス -般社員・職員ク 16.8% 社内情報システム その他情報システ 関連 ム関連 12.6% 31.8%

ブロックチェーンへの関心は2022年2月調査時から落ちてきている

「お勤め先で導入している、予算を投資しているものがあれば、いくつでも お選びください。」という設問における「ブロックチェーン」の回答比率



※2022年からは回答選択肢を「ブロックチェーン・NFT」に変更 ※ITmedia エンタープライズ読者調査DX編の回答結果より抜粋

※ITmedia エンタープライズ特集「Web3」(https://www.itmedia.co.jp/enterprise/subtop/features/web3news/index.html)内記事の23年1~11月の閲覧状況から作成

今後の編集記事予定

今後の編集記事予定

発表から1年 東芝の法人向けブロックチェーン「DNCWARE Blockchain+」はどう社会で活躍しているのか

Web3に積極的なNTTドコモ 業界への期待と今後の計画は

Web3コミュニティも立ち上げているNEC 同社の取り組みは

Web3などを対象にCVCを立ち上げた日立 同社のWeb3への考えとは

過去掲載記事で、よく読まれている記事

メタバースって結局どうなった? 企業の野望の行方は

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2305/08/news033.html

結局、ブロックチェーンとWeb3って重要なんですか?

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2302/08/news006.html

Web3を知らない人が言う「それただのブームでしょ?」が間違いな理由

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2302/09/news004.html

Web3の産業応用が本格化 NTT Com、TISが相次いで発表

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2303/28/news071.html

AstarとAWSに聞く Web2.0とWeb3の協力が生み出す新たな価値

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2302/28/news009.html

Web3がビジネス臭くなる? 現場の声は「なんか違う」

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2303/08/news029.html

ニチガスが模索する"Web3を見据えたビジネスモデル" 「レガシーシステムを捨てる勇気」が必要な理由

https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2303/22/news007.html

※掲載予定記事は予告なく変更となる場合があります。

広告記事制作のご提案

Web3によるビジネス開発を志向する読者に対する最適なコンテンツを、日々ニュースを追いかけている編集者がご提案

広告記事案の例

「Web3がなぜ必要なのか どう未来を変えるのか」 その可能性を聞いた

生成AIに企業の注目が集まっているが、2022年から2023年にかけては多くの企業がWeb3ビジネスに乗り出した。それらサービスは現在どうなっているのか。どのような価値を提供するのか。今一度再確認したい。

着々と生まれるWeb3のユースケース 各社の取り組みと現在地

AIブームの裏で、企業におけるWeb3への取り組みはどのように進んでいるのか。実際のユースケースを紹介する。

企業がWeb3を活用するための戦略策定方法とは

取り組みたくてもどう取り組めばいいのかいまいちわからない企業も多いWeb3。本企画では、人材育成と獲得、組織文化の変革、Web3に取り組む際に必要な組織体制について解説する。

Web3に取り組む際に気を付けたいリスクと対策

"ブロックチェーンは安全"とよく耳にするが果たしてそうなのでしょうか。Web3サービスを活用する際に企業が注意すべき法的なリスクはどのようなものがあるのでしょうか。ブロックチェーンや暗号資産に潜むセキュリティのリスクとその対策、Web3市場の変化に対応するためにカバーしておきたい法令関連の解説を行う。



タイアップ記事プランのポイント

訴求内容に応じた記事コンテンツを制作 豊富な掲載実績をもとに最適な企画をご提案いたします

▼記事コンテンツ例

有識者インタビュー・ 対談

●業界の第一人者・識 者に、いま企業が直 面するビジネス環境 の変化や課題につい てお聞きしいノリュー ションに沿って広く 問題提起と課題感の 醸成を狙う

調査結果とインサイト

貴計の調査データ、 またはITmediaで実 施した調査結果と得 らわたインサイトを 解説することで、客 観的な数値や傾向を もって問題提起する ことで、客観的な根 拠に基づいた説得力 のある訴求が可能

各種イベントやセミ ナーの発表内容や資 料を記事化しイベン ト参加者以外にも広 く訴求するレポート 記事。イベントの アーカイブ化と幅広 いターゲット層への リーチを図る

製品・サービス紹介

- •ソリューションにつ いてインタビューし、 課題の提起と、その 解決策としての製品 訴求を行う。
- ●製品・サービスの認 知拡大、ブランド理 解促進

開発担当者インタ

- ソリューション開発 担当者様へ、開発経 緯やソリューション を取り巻く環境のリ アルタイトな分析な どをインタビュー。 ソリューションに対 する立体的な理解を 喚記
- ●製品・サービスの認 知拡大、ブランド理 解促進

導入事例

- ●実際にソリューショ ンを導入している ユーザー企業に、導 入に至る経緯や課題 感、導入後の改善占 をインタビュー。
- ●製品・サービスの認 知拡大と、具体的な 活用シーンの提示と 検討導入への動機づ けを狙う

※@ITに掲載するタイアップ記事に限り、@ITが実施した読者調査の結果を 記事内で無償で利用することが可能です。詳しくは営業担当へお問合せください。

[※]識者のアサインには別途アサイン費を頂戴する場合がございますので予めご了承下さい。

[※]あくまで一例です。ご要望に応じて貴社独自の企画案をご提案いたしますので、お気軽にお問合せ下さい。

当社タイアップ記事の特徴

読者のことを最もよく知る編集者 による企画・編集

日々メディアで配信しているニュース記事を執筆・ 編集しているメディア編集者がその知見を活かし、 読者の理解を促しエンゲージメントを高めるコンテ ンツをご提案。制作作業に最後まで携わります。



効果的な読者導線

アイティメディアが有する数多くのサイト特性を生かした広告や、

「ITmedia DMP」に蓄積されている読者の行動データ を活用したオーディエンス拡張配信などを組み合わせ、 効率的な読者の閲覧を獲得します。



PVの保証

PV数を保証するメニューをご用意。キャンペーンの数値目標にコミットします。また、一度掲載期間が終了したタイアップ記事に読者誘導を再開することも可能です。



詳細なレポーティング

掲載期間終了後には閲覧レポートをご提供しますので、キャンペーンを適正に評価し、次回施策への活用が可能です。

企画概要

ITmedia エンタープライズ読者への情報発信

企画特集内でのコンテンツ訴求

メディア



特集・編集記事 (イメージ)





●本企画のポイント

特集で集まったWeb3関心者に対し

- 多量PV保証
- 閲覧者の属性保証



メルマガ











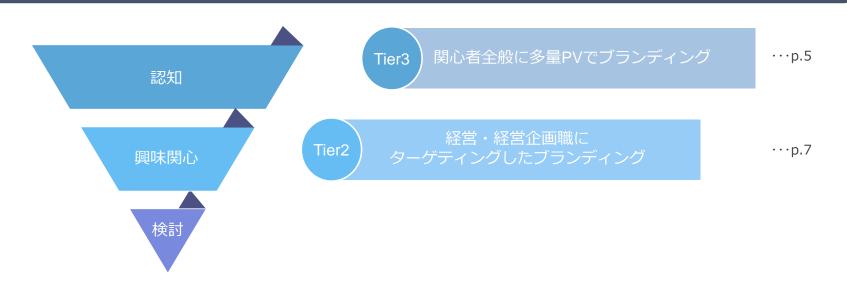






協賛プラン

メディアの力を活かしたブランディング支援をメインに、パーチェスファネルにそったプランをご用意





協賛特典として ITmedia エンタープライズ ターゲティングメール (定価¥500,000) 1本をご提供

関心者全般に多量PVでブランディング

メディアの閲覧行動から「Web3やブロックチェーンに関心が高い読者」を抽出し、アイ ティメディア内外から読者をタイアップ記事へ誘導。

「興味・関心の高い人」を中心に認知度を向上

興味・関心の高い人のみに誘導広告を表示するため、興味・関心を持つ人を中心に認知度を向上させる効果が期待できます。

アイティメディアへ訪れたことがない人へもアプローチ

読者の行動データを外部サービスへ連携。拡張配信を行うことで、アイティメディアに訪れたことのない、 同じ「興味・関心を持つ人」を外部メディアで捕まえる事が可能に、読者のリーチが広がります。





誘導広告を表示 記事へ誘導





誘導広告を 表示しない



提供価格 (グロス税別)

¥1,900,000

記事メニュー

提供メニュー 行動履歴ターゲティングタイアップ記事

保証形態 PV保証

保証PV 10,000PV

掲載期間 最短1週間~想定2ヶ月(保証PV達成次第終了)

タイアップ記事 1本制作

約3000~4000字、図版3点以内(取材あり)

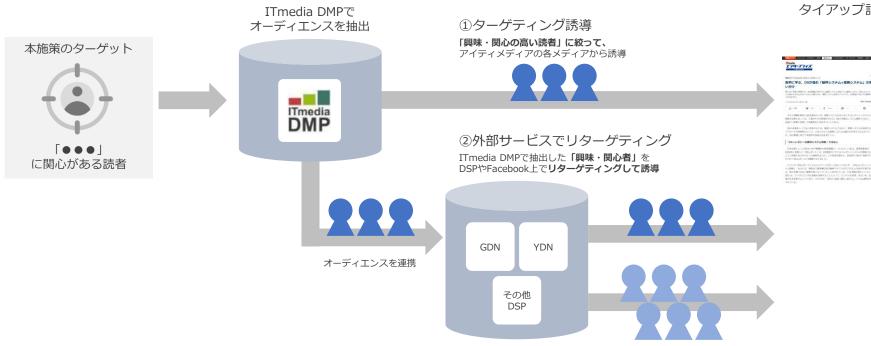
什様 コンテンツ掲載費含む

> 閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等) (特典) 特集TOPリンク(1か月間)

- キーワードは自由に選定可能ですが、弊社内でのUB数が10万UBを下回る 場合、調整をお願いする場合がございます。
- 本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用した プランとなります。
- 外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先 を選択します(指定出来ません)
- 誘導原稿はアイティメディアが準備いたします(事前・終了後の確認・指 定はできません)

行動履歴ターゲティングタイアップ誘導イメージ

ターゲット・オーディエンス+類似ユーザー誘導することで掲載効果UP



タイアップ記事

③類似ユーザーに拡張

オーディエンス拡張機能を利用し、より多くの 「興味・関心者」をタイアップ記事へ誘導

※DSP・SSPを利用する場合は、独自のホワイトリストを利用し、面の安全性を確保しています

経営・経営企画職にターゲティングしてブランディング

Web掲載のタイアップ記事ではITmedia内外へ広範に訴求、

メールでのプッシュ型記事では配信先の属性を保証をした追加訴求を実施

特集



Web:記事掲載







エッセンスを抽出し 2000文字に再構成

メール: サマリ配信





経営・経営企画職 2万通 配信保証

提供価格 (グロス税別)

¥2,000,000

メニュー

提供メニュー① 行動履歴ターゲティングタイアップ記事

形態 Web掲載 保証PV 1,000PV

掲載期間 想定1ヶ月(保証PV達成次第終了)

タイアップ記事 1本制作

約3000~4000字、図版3点以内(取材あり)

仕様 コンテンツ掲載費含む

閲覧レポート(PV,UB,閲覧企業等) (特典) 特集TOPリンク(1か月間)

- キーワードは自由に選定可能ですが、弊社内でのUB数が10万UBを下回る場合、調整をお願いする場合がございます。
- 本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用したプランとなります。
- 外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先を選択します(指定 出来ません)
- 誘導原稿はアイティメディアが準備いたします(事前の確認・指定はできません)

提供メニュー② タイアップ プッシュターゲティング

形態 タイアップコンテンツを、HTMLメール形式で配信

保証配信数 20000通

・タイアップ記事 1本制作(2000字程度)

・HTMLメールでのコンテンツ配信

レポート(・配信数 ・CTR・開封率 ・クリック数)

・配信日:月~金 ※空き枠状況は営業に確認ください。

タイアップ プッシュ制限事項

タイアップをHTMLメールで配信するため、タイアップ記事制作時の制限事項がございます。 原稿作成時に制限内で納まるよう作成いたしますが、校正段階での修正依頼を頂いた際にご要望にお応え出来ない場合がございます。 あらかじめご了承ください。

●ブロックについて

- ・記事は複数のブロックによって構成されます。
- ・ブロックは「タイトル(見出し)+テキスト+写真(画像)」の3点セットが1ブロックとなります。
- ・ブロックの数は、2~4ブロックの構成となります(4ブロックを超える事は出来ません)
- ・ブロックは必ず「タイトル(見出し)→テキスト→写真(画像)」の順に掲載され順番を変更する事は出来ません。

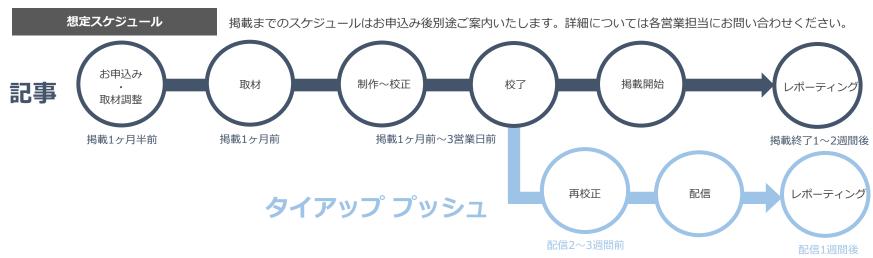
●各種制限事項

- ・タイトルは全角30文字までとなります(メールタイトルとしても利用する為)
- ・文字数は約2000文字以内となります(見出し含む)
- ・記事内テキストの装飾は出来ません(太字・下線・リンクなど)
- ・写真(画像)は、最大3点までとなります
- ・写真(画像)にキャプションを付けることは出来ません
- ・関連リンクは最大3点まで掲載いただけます(うち1つはリンクボタンとして設置いたします)

タイアップ プッシュ クリップ スケジュールイメージ



記事制作スケジュール



※「制作~校正」の期間中には初校・再校・念校が含まれます。念校では"再校時にご依頼いただいた修正内容が反映されているかどうか"の最終確認を行っていただきます。

ご注意事項

- ・制作したタイアップ記事の著作権は、当社および制作スタッフ(ライター、カメラマンなど)に帰属します。
- ・印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は、担当営業までお問合わせ下さい。
- ・著名人のアサインや、遠方への取材などが必要な場合は、別途料金を頂戴いたします。
- ・お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下の追加費用が発生する場合がございますのでご了承ください。
 - ・初校の出し直し: ¥300,000
 - ・念校以降の修正:¥100,000
 - ・再取材のご要望についてはご相談下さい。 ※全て税別・グロス

キャンセル規定

広告商品の発注書受領後、広告主様のご都合でキャンセルを行う場合は、下記の料率でキャンセル料を申し受けます。

商品			キャンセル料金	主な対象商品(下記以外の商品はお問合せ下さい)
ディスプレイ広告、メール広告、クリック保証広告			入稿締切期日まで:50% / 入稿締切期日以降:100%	各種ディスプレイ広告、メール広告、クリック保証広告
記事企画 Special(タイアップ記事広告)			初校提出前まで:広告料金(制作費、掲載費、誘導費を含む一式)の50% 初校提出以降:広告料金(制作費、掲載費、誘導費を含む一式)の100%	期間保証型タイアップ、PV保証型タイアップ
リードジェン	件数保証型	リード獲得	キャンペーン開始前まで:広告料金(基本料金+リード料金)の50% キャンペーン開始後:広告料金(基本料金+リード料金)の100%	LeadGen. Basic / Segment
		制作オプション	初校提出前まで:広告料金(制作料金)の50% / 初校提出以降:広告料金(制作料金)の100%	LG. Segment オプション 編集タイアップ制作、ホワイトペーパー制作
		その他オプション	キャンベーン開始前まで:広告料金 (オプション料金) の50% キャンベーン開始後:広告料金 (オプション料金) の100%	LG. Segment オプション アンケートカスタマイズ、テレマーケティング
	期間保証型	ホワイトペーパー	キャンペーン開始前まで:広告料金の50% / キャンペーン開始後:広告料金の100%	TechFactory 期間保証型LGサービス
		タイアップ	初校提出前まで:広告料金の50% / 初校提出以降:広告料金の100%	TechFactory 期間保証型LGサービス
	長期リード獲得サービス		申込み金額の半額費消まで:広告料金(リード料金)の50%/申込み金額の半額費消以降:なし	LeadGen. Segment 長期利用プラン
セミナー	集合型セミナー		開催日の41日前まで:広告料金の50% / 開催日の40日以内:広告料金の100%	アイティメディア主催セミナー スポンサープラン
	成果課金型集客サービス		集客開始(初回メール配信)まで:最低実施料金の50% / 集客開始後:最低実施料金の100%	成果課金型集客サービス
	受託セミナー		・開催日の41日前まで:50% ・開催日の40日以内:100% ただし、上記キャンセル料を超える実費(会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など)が発生する 場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。	受託セミナー、Webセミナーサービス
その他	ABMレポート		初回提供まで:広告料金の50% / 初回提供以降:広告料金の100%	ABMレポート、ABMレポートオプション
	カスタム記事パンフレット、抜き刷り		初校提出前まで:広告料金の50% / 初校提出以降:広告料金の100%	カスタム記事パンフレット、抜き刷り
	動画制作		収録2日前まで:広告料金の50% / 収録前日以降:広告料金の100%	動画制作
	マーケットリサーチ		回答収集開始前まで:広告料金の50% / 回答収集開始後:広告料金の100%	マーケットリサーチ

媒体規定

広告の掲載につきまして

- ・広告の掲載可否(掲載中の掲載停止の可否を含みます)につきましては、アイティメディア株式会社が広告掲載基準に基づき判断し決定いたします。
- ・掲載された広告およびリンク先の内容についての一切の責任は、広告主が負うものとします。
- ・同ページに複数の広告が掲載される場合、同業種競合調整はいたしません。ご了承ください。

広告掲載基準

- 1. 掲載に関する基本基準
 - (1) 弊社及び弊社の運営するサイトの信頼と品位を損なう表現・内容を含む広告は掲載しません。
 - (2) 法令、政令、省令、条例、条約、業界規制等に違反する表現、内容を含む広告は掲載しません。
 - (3) 虚偽、誇大、もしくは誤認、錯誤される恐れのある表現・内容を含む広告は掲載しません。
 - (4) 以下の類を含む、公序良俗に反する表現・内容を含む広告は掲載しません。
 - 人権を侵害する恐れのある表現・内容
 - ・名誉毀損、プライバシーの侵害、信用毀損、誹謗中傷、その他不当な業務妨害となる恐れのある表現・内容
 - ・非科学的、迷信に類するもので、消費者を惑わせたり不安を与える恐れのある表現・内容
 - ・宗教信仰による布教活動を目的としている表現・内容
 - 暴力、賭博、麻薬、売春などの犯罪行為を肯定、美化した表現・内容
 - ・醜悪、残虐、猟奇的で不快感を与える表現・内容
 - ・性的に露骨、わいせつ、セクハラに該当するおそれのある表現・内容
 - ・風紀を乱し、犯罪を誘発するおそれのある表現・内容
 - ・賭博行為および投機等、射幸心を著しく煽る恐れのある表現・内容
 - (5) 消費者を混乱させる恐れのある表現・内容を含む広告は掲載しない。
 - (6) 団体・個人の氏名、肖像、写真、談話、商標、著作物などを無断で使用している恐れ、または権利侵害のある恐れのある表現・内容を含む広告は掲載しません。
 - (7) 広告内容及びリンク先に関し運営者が不明、または責任所在が明らかでない広告は掲載しません。
 - (8) その他、弊社が不適当と判断した表現・内容を含む広告は掲載しません。
 - (9) 個人サイトの広告は掲載しません。

2. 掲載の停止

- (1) 掲載開始後に以下の事由が生じた場合、アイティメディアは広告掲載を停止することがあります。なお、アイティメディアは、本項目に基づく掲載停止に関し、 広告主に対し何らの責めを負うものではありません。
 - ① 広告に含まれるリンク先サイトが、アイティメディアの責によらない理由によりデッドリンクとなっているとき
 - ② 広告に含まれるリンク先サイトがウイルスに侵された等、何らかの不具合が発生した場合
 - ③ 掲載を継続することにより第三者もしくはアイティメディアに損害が生じる恐れがある、または第三者もしくはアイティメディアの信用を損なう恐れがあるとアイティメディアが判断したとき
 - ④ 法令・業界規制等の改定、その他の掲載後に生じた事情の変更により、広告の内容が広告掲載基準に違反することとなったとアイティメディアが判断したとき
- ⑤ 広告掲載規準に違反すると、アイティメディアが判断したとき
- (2) 前項目(1)に基づき掲載停止した期間における広告主の広告掲載料の支払い義務は、免除されないものとします。

3. 掲載の中断

- (1) 掲載開始後に以下の事由が生じた場合、アイティメディアは広告掲載を中断します。
 - ① 火災、停電、天災地変、戦乱等の非常事態、インターネットトラフィックの過大等の不可抗力により広告配信サーバ又は広告配信システムが故障し、または機能不能となった場合
 - ② 広告配信サーバ又は広告配信システムの定期または緊急の保守・点検を行う場合
 - ③ 第三者によるハッキングやクラッキング、不正アクセス等、アイティメディアの責に帰すことのできない事由により広告配信サーバ又は広告配信システムに障害が生じた場合
 - ④ その他アイティメディアが広告配信サーバまたは広告配信システムの一時的な中断が必要と判断した場合
- (2) 前項目に基づく中断により、広告主の申込条件通りに広告掲載が不可能になった場合、または掲載された広告からリンク先への接続ができない場合等、広告掲載契約における当社の義務を履行できない事象が生じた場合におけるアイティメディアの義務は、可能な限り、当該事象を治癒することに限定されるものとします。また、当該事象がアイティメディアの故意または重大が過失によることが明らかである場合を除き、アイティメディアは該事象に起因する広告もの指案について一切責任を負わないものとします。

